

新年明けましておめでとうございます。

今年も JACCRO 臨床研究にご協力を宜しくお願いいたします。

コロナ禍の中での日常診療に苦勞されていることと推察致します。JACCROは昨年10月に新事務所に移転し、テレワークを導入、換気、ソーシャルディスタンスを守りながら業務を続けております。今年からJACCRO Newsletterを充実させ、可能な限り皆様に私たちの活動状況をお伝え致しますので、宜しくお願い致します。

- 「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI＋ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験：JACCRO CC-16」の90症例集積を昨年内に完遂することができました。参加各施設にお礼申し上げます。
- 相次ぐ国内外における学会の縮小、virtual化により学会報告は3件にとどまりましたが、今年のGastrointestinal Cancer Symposium ASCO GI 2021ではGC-07: START-2とGC-08: DELIVER trialがOral presentationに採択されました。Oralに2題採択されたことはJACCRO初めてのこととなります。また、CC-13の安全性報告もPoster採択されています。ひとえに参加各施設のご協力と感謝しております。
- 2020年度の掲載論文は3件にとどまりましたが、現在執筆中の論文が9件あり今年に期待がかかります。事務局では今後も執筆に関わるお手伝いを継続して参ります。
- 新規臨床研究 CC-17：「RAS遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸がんに対する化学療法後の血液中RAS遺伝子変異を評価する観察研究」の説明会をZoomにて開催致します。
 - 主要評価項目：血液検体におけるRAS遺伝子野生型の頻度
 - 説明会日程
 - ◇ 2021/01/20：15.00-15.45
 - ◇ 2021/01/20：18.30-19.15
 - ◇ 2021/01/21：18.30-19.15
 - ご参加いただける場合は、cc17.dc@jaccro.or.jp宛に（1）ご出席者名、（2）診療科名、（3）メールアドレス、（4）参加日時（複数可能）をお知らせください